

**製品名:** リン酸化 TrkA/B (Tyr490/Tyr516) ウサギモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMRe84924

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 92 kDa; Observed MW: 140 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	Phospho-TrkA/B (Tyr490/Tyr516)
別名	NTRK2; TRKB; BDNF/NT-3 growth factors receptor; GP145-TrkB; Trk-B; Neurotrophic tyrosine kinase receptor type 2; TrkB tyrosine kinase; Tropomyosin-related kinase B
遺伝子 ID	4915.0
SwissProt ID	Q16620
免疫原	ヒト TrkB の Tyr516 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

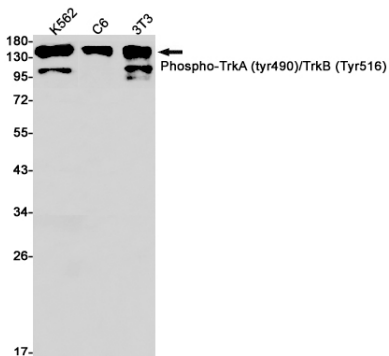
## 背景

Trk 受容体チロシンキナーゼファミリーは、TrkA、TrkB、TrkC から構成されます。これらのファミリーメンバーの配列は高度に保存されていますが、それぞれ異なる神経栄養因子によって活性化されます。TrkA は NGF、TrkB は BDNF または NT4、TrkC は NT3 によって活性化されます。TrkA は増殖を制御し、神経系の発達と成熟に重要です。TrkA の点変異、欠失、染色体再編成 (キメラ) は、リガンド非依存性受容体の二量体形成と TrkA の活性化を引き起こします。

## 研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路、Hippo シグナル伝達経路

## 画像データ



Phospho-TrkA/B (Tyr490/Tyr516) 抗体を使用した、K562、C6、3T3 溶解物中の Phospho-TrkA (tyr490)/TrkB (Tyr516) のウエスタンブロット分析。